

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務課] P. 383

2201 通学送迎に要する経費 19,078,911 円 (18,412,666 円)

〈435,600 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 4 年度繰越分

[国・県 〈264,000 円〉 その他 7,481,600 円 〈171,600 円〉 一財 11,333,311 円]

* 特財内訳

[県補：学校等安全対策支援事業費補助金 〈264,000 円〉]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 7,310,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈171,600 円〉]

○ 目的

遠距離通学となる児童生徒が安全に通学できる手段を確保する。

○ 内容

通学送迎委託料 16,888,300 円

- ・取手小学校・取手第一中学校（小堀地区） 5,038,000 円
- ・取手東小学校（小文間地区） 7,920,000 円
- ・永山小学校（市之代・貝塚地区） 3,217,500 円
- ・桜が丘小学校（大留地区） 712,800 円

スクールバス置き去り防止装置 〈435,600 円〉

○ 効果

対象児童生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務課] P. 385

2301 教育情報機器整備に要する経費 226,161,208 円 (236,982,537 円)

[国・県 3,542,000 円 その他 14,010,000 円 一財 208,609,208 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金 3,542,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 14,010,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。また、GIGA スクール構想実現のためにネットワーク環境管理や ICT 授業支援を行う。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

- ・ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料 28,030,860 円
- ・教育センターシステムクラウド運用管理委託料 7,887,000 円
- ・教育センターシステムクラウド使用料 67,077,888 円
- ・校務支援システム使用料 8,751,600 円

- ・教職員用パソコン使用料 42,742,080 円
- ・指導者用タブレットパソコン使用料 13,783,000 円
- ・教育支援ソフトライセンス使用料 30,360,000 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報保護が図られた。また、指導者用タブレットパソコンの更新や、教育支援ソフトライセンスの使用期間延長を行い、GIGA スクール構想実現のための ICT 環境整備を推進した。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.387

2101 奨学生貸付金 3,360,000 円 (2,400,000 円)

[その他 2,304,000 円 一財 1,056,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 2,304,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学：月額 30,000 円、私立大学：月額 40,000 円

貸付者数

種 別	R5 (内 新規貸付)	R4 (内 新規貸付)	R3 (内 新規貸付)
国公立大学	0 名	0 名	1 名
私立大学	7 名 (3)	5 名 (1)	4 名 (2)
合 計	7 名 (3)	5 名 (1)	5 名 (2)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.387

0501 教育振興に要する経費 114,607,811 円 (71,394,706 円)

[国・県 228,800 円 その他 53,082,478 円 一財 61,296,533 円]

* 特財内訳

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 228,800 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 53,072,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,478 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・英語指導助手業務委託料 66,457,644 円
英語指導助手（ALT）15人（中学校7人・小学校8人配置）を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実に努めた。
- ・地域人材活用事業講師謝礼 348,000 円
- ・理科教育用教材購入 228,800 円

○ 効果

小学校では全ての外国語の授業でALTを配置し、中学校では1校に1名のALTを配置することにより、外国語に慣れ親しむ環境を提供し外国語学習への意欲を高めることができた。また、新学習指導要領外国語の言語活動の要となる「外国語による本物のコミュニケーション」を図ることができた。

[担当：指導課] P.389

1001 特別支援教育に要する経費 6,629,621 円 (7,128,663 円)

[その他 26,609 円 一財 6,603,012 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 26,609 円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市立小中学校の特別支援教育の充実に努める。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	R5	R4
未就学児	96 件	102 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての審議を実施した。

・判定人数

区 分	R5 (205 人)	R4 (128 人)
新学齢児	70 人	48 人
在学児童生徒	135 人	80 人

- ・特別支援教育相談員報酬（4人分） 4,243,404 円
- ・発達検査謝礼 660,000 円

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市立小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 391

2401 教育相談に要する経費 37,150,235 円 (30,055,415 円)

[その他 55,372 円 一財 37,094,863 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 55,372 円]

○ 目的

取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言を踏まえ、令和2年4月より(1)全員担任制(小学校はチーム指導)、(2)教育相談部会システム、(3)2学期制からなる取手市の新しい学校教育3つの取組を開始した。

スクールカウンセラー・スーパーバイザーと学校連携支援員が、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで支援できるようサポートしていく。また、学校教育相談員やスクールソーシャルワーカーの専門職により、より適切な支援を行う。

○ 内容

・学校連携支援員報酬	5,129,124 円
・学校教育相談員報酬	5,742,815 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	1,692,000 円
・いじめ問題専門委員会委員報酬	2,985,500 円
・子どもと親の相談員謝礼	3,727,000 円
・教育資質・能力向上研修講師謝礼	283,500 円
・燃料費	412,842 円
・自動車損害保険料	276,304 円
・スクールロイヤー委託料	1,100,000 円
・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料	8,833,400 円
・Q-Uテスト実施業務委託料	2,937,264 円
・いじめ防止アプリ使用料	724,020 円
・代理人委託料	672,555 円

○ 効果

教育相談部会システムを推進するに当たり、学校連携支援員を中心として、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで対応できるようサポートすることができた。また、専門職であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーがよりきめ細やかな支援を行った。

現在の子どもたちに焦点をあて、子どもたちを育てていく学校づくりを目指していくため、外部から講師を招き教職員一斉研修会を4月と8月に開催し、多くの学びを得ることができた。

[担当：指導課] P. 393

2501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 5,127,751 円 (4,931,960 円)

[その他 3,450,000 円 一財 1,677,751 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,450,000 円]

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童の受入れを行っている。

アーティストと児童の交流事業として、外国籍のアーティストを招き、短期間学校に滞在し、児童とともに創作活動を行う「となりのスタジオ」を実施した。

初めての試みとして、アーティストと児童の交流事業の取組を、他の小学生に体験してもらうことを目的にサマーアートキャンプを実施した。

また、年間を通して取り組む「大地からはじまること」では、身の回りにある自然から素材を得て、手を加える方法を学び、時間をかけてものを形づくることを体感するプログラムを実施した。

- ・アーティストと児童の交流事業委託料 4,930,992 円
- ・山王小学校オープンキャンパスチラシ印刷業務料 71,280 円

○ 効果

「となりのスタジオ」で制作した作品を取手駅市民ギャラリーに、「大地からはじまること」で制作した作品をとりでアートギャラリーたいけん美じゅつ場 VIVA に展示し、市民に広く周知することができた。

サマーアートキャンプでは、民間企業とも連携し、ワークショップだけでなく、民間企業の強みを活かした講座や見学を取り入れ、充実したプログラムで実施することができた。

[担当：指導課] P. 393

4201 日本語指導員に要する経費 1,481,485 円 (1,141,140 円)

[一財 1,481,485 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

- ・日本語指導員報酬 1,390,261 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R5	6 人	中国語 3 人 ポルトガル語 2 人 英語 1 人
R4	6 人	中国語 4 人 ポルトガル語 4 人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活へ

の適応が図られた。

〔担当：指導課〕 P. 395

4501 学力向上推進事業に要する経費 1,024,301 円 (327,473 円)

〔一財 1,024,301 円〕

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。
また、教職員の指導力向上を目指した研修を充実させる。児童生徒科学研究作品展等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

・委託料 30,396 円

○ 効果

児童生徒の学力の向上を目指し、教職員の指導力を高める研修を計画的に実施することができた。児童生徒科学研究作品展や小学校読書感想文において優秀作品を表彰することにより、研究や制作に関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

〔担当：指導課〕 P. 395

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 267,344 円 (240,325 円)

〔国・県 178,000 円 一財 89,344 円〕

* 特財内訳

〔県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 178,000 円〕

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけさせるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

市立小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、取手図書館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設けた。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用した。

延べ参加人数

会場	取手図書館	永山小コミュニティスペース	藤代庁舎
児童数	35 人	75 人	49 人
学習支援員数	15 人	18 人	18 人
高校生ボランティア数	17 人	27 人	40 人

・土曜日学習支援員謝礼 204,000 円

・消耗品等 51,304 円

・ボランティア保険料 12,040 円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：子ども青少年課] P. 395

1001 青少年健全育成に要する経費 11,096,586 円 (10,418,699 円)

[国・県 47,160 円 その他 16,361 円 一財 11,033,065 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 47,160 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 16,361 円]

○ 目的

青少年特別相談員報酬、青少年相談員謝礼の他、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を目的とする。

○ 内容

地域で子どもを見守る体制づくり活動を実施する特定非営利法人団体に対して、新たに補助金を交付する。

<取手市みんなの補助金（協働提案型公募補助制度）>

・こども食堂事業補助金 500,000 円

○ 効果

地域の子どもが、学校や家庭とは趣の異なる子ども食堂に集まり、地域の高校生やボランティアの方と一緒に宿題や遊びなどを行い、温かい食事を取ることができる居場所づくりを支援することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P. 399

2001 小学校管理に要する経費 303,321,194 円 (275,167,217 円)

<37,081,000 円> ※ < > は、うち4年度繰越分

[国・県 <11,805,000 円> 地方債 <23,100,000 円>

その他 15,549,435 円 <2,176,000 円> 一財 252,866,759 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 <11,805,000 円>]

[市債：小学校施設整備事業債

<(35,158,000 円－11,805,000 円) × 100% ≒ 23,100,000 円>]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,554,470 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,790,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 <2,176,000 円>]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 166,932 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 262,033 円]

[諸収入：子ども活動支援金 600,000 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

・小学校6校（永山小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小）にTT（ティームティーチング）講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を

- 行い、児童の基礎学力の定着を図った。 5,457,976 円
- ・教育補助員を全小学校に配置し、児童の学校生活の支援を行った。 80,498,981 円
- ・学校司書を全小学校に配置し、学校図書室の整備を図った。 13,606,164 円
- ・小学校5校（取手小、取手西小、六郷小、久賀小、桜が丘小）の老朽化した遊具を更新した。 (37,081,000 円)
- ・子ども活動支援金を活用し、永山小学校のシーソーを購入した。 602,250 円

○ 効果

- ・TT 講師の配置により個々に応じた対応ができ、基礎的な学力の定着が図られた。
- ・教育補助員を配置することで、児童の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。
- ・小学校の遊具を更新することで、児童に対して安全な遊具を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.401

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,083,186 円 (26,917,562 円)

[国・県 27,120 円 その他 1,763,180 円 一財 25,292,886 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 27,120 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460 円×3,833 人=1,763,180 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 13,540,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	25 名（14 名）	23 名	14 名

- ・児童・教職員集団検診委託料 4,624,950 円

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4 年	1 年	精密検査対象者	4 年
R5	4,274 人	507 人	715 人	6 人	507 人
R4	4,349 人	521 人	671 人	7 人	521 人

職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・腹囲測定
R5	90 人	90 人	12 人	89 人	90 人	90 人
R4	82 人	82 人	6 人	78 人	82 人	82 人

- ・教職員の「心の健康チェック」（ストレスチェック）の実施 30,426 円
- ・学校環境衛生検査の実施（簡易専用水道検査） 184,800 円

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P. 403

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 13,808,961円 (18,291,726円)

〈8,158,482円〉 ※ 〈 〉 は、うち4年度繰越分

[国・県 10,901,640円 〈8,158,016円〉 その他 〈466円〉 一財 2,906,855円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 2,743,624円]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 〈4,079,016円〉]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈4,079,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈466円〉]

○ 目的

感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に抑えつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、教室等における効果的な換気対策に係る取組に必要な経費を支援する。

○ 内容

- ・教室等における三密対策として、換気を徹底するためのサーキュレーター及び空気清浄機等の物品購入や網戸の設置を行った。
- ・感染対策における換気と温湿度管理を両立できるようにするために、普通教室や体育館等に備える加湿器や暖房器具等の物品購入を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の安全な学習環境の維持が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P. 405

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 23,233,723円 (23,995,273円)

[国・県 731,770円 その他 16,525,000円 一財 5,976,953円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 731,770円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 16,525,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	合計
R5	8,652,048	2,447,544	10,924,715	22,024,307
R4	10,015,129	2,503,289	10,333,910	22,852,328

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P. 405

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 42,115,312円(43,930,544円)

[国・県 3,674,000円 一財 38,441,312円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 56,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,618,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護・準要保護児童就学援助者数(在校生)

区分	要保護数	準要保護数	合計
R5	15人	466人	481人
R4	24人	486人	510人

・入学準備金支給者数

区分	申請者数	支給者数
R5	54人	50人
R4	56人	53人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
R5	316人	208人
R4	301人	204人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P. 405

2303 物価高騰に伴う課題図書等給付事業に関する経費 1,441,062円(1,656,474円)

[国・県 1,440,000円 一財 1,062円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 1,440,000円]

○ 目的

夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や児童の学習機会の確保を図る。

○ 内容

就学援助の対象となった児童1人につき夏休みの読書感想文課題図書等を2冊支給した。

・図書給付

区分	配布人数	配布冊数	図書購入金額
R5	427人	854冊	1,204,962円
R4	477人	954冊	1,397,704円

○ 効果

保護者に対し、図書給付による経済的援助を行うことで、児童の学習機会を確保することができた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 407

2203 小学校建設事業に要する経費（白山小学校） 771,979,000円（594,193,400円）
〈770,241,000円〉※〈〉は、うち4年度繰越分
[国・県 〈134,845,000円〉 地方債 〈635,200,000円〉
その他 1,934,000円 〈196,000円〉]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈134,845,000円〉]

[市債：小学校施設整備事業債

〈(352,438,000円－118,260,000円)×100%≒234,100,000円〉]

[市債：小学校施設整備事業債

〈(33,006,000円－16,585,000円)×100%≒16,400,000円〉]

[市債：小学校施設整備事業債 〈384,797,000円×100%≒384,700,000円〉]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,738,000円]

[繰越金：前年度繰越金 〈196,000円〉]

○ 目的

白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事にかかる第3期工事の設計単価見直し及び第2期工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事設計単価見直し業務委託料 1,738,000円

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事監理業務委託料 19,245,000円

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事 750,996,000円

○ 効果

白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事の第2期工事として校舎の増築工事等を行うことにより、安全かつ快適な教育環境の整備が図られた。また、第3期工事の設計単価見直しを行うことにより、令和6年度の第3期工事が速やかに着工できる準備が整った。

[担当：教育総務課] P. 407

2213 小学校建設事業に要する経費（高井小学校） 17,897,000円（0円）

[地方債 13,100,000円 その他 4,797,000円]

* 特財内訳

[市債：小学校施設整備事業債 17,545,000円×75%≒13,100,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,797,000円]

○ 目的

児童数増加による普通教室数の不足が見込まれる高井小学校の校舎増築工事に伴う実施設計を行い、令和6年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

- ・電波障害事前調査委託料 352,000 円
- ・校舎増築工事実施設計業務委託料 17,545,000 円

○ 効果

児童数増加による普通教室数の不足が見込まれる高井小学校の校舎増築工事に伴う実施設計を行い、令和6年度に速やかに着工できる準備が整った。

[担当：教育総務課] P.409

2221 小学校建設事業に要する経費（戸頭小学校） 1,672,000 円（0 円）

[その他 1,672,000 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,672,000 円]

○ 目的

戸頭小学校のバリアフリー改修工事に伴う実施設計を行い、令和6年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

- ・バリアフリー改修工事実施設計業務委託料 1,672,000 円

○ 効果

戸頭小学校のバリアフリー改修工事に伴う実施設計を行い、令和6年度に速やかに着工できる準備が整った。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.409

2001 給食運営に要する経費 311,791,892 円（314,556,985 円）

[その他 166,381,779 円 一財 145,410,113 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,000,000 円]

[諸収入：小学校給食代自校分 165,326,501 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 55,278 円]

○ 目的

児童に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

- ・賄材料費 162,617,785 円
- ・委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検（12校）	1,120,460
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃（8校）	1,611,572
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（8校）	1,026,666
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除（14校）	733,330
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託（7校） （取手小、白山小、寺原小、永山小、	120,710,700

	取手西小、戸頭小、高井小)	
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校)	899,891

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を委託することにより、適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、児童に給食を通じた食育推進を図ることができた。

[担当：保健給食課] P.411

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 22,276,000 円

(7,853,477 円)

[国・県 19,379,000 円 一財 2,897,000 円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 19,379,000 円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

○ 内容

・賄材料費 22,276,000 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.411

2101 給食施設整備に要する経費 6,644,495 円 (5,768,106 円)

[その他 2,345,000 円 一財 4,299,495 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,125,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 220,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料（施設や厨房機器等の修繕） 5,363,875 円

・備品購入費（白山小学校フライヤー） 917,620 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P. 415

2001 中学校管理に要する経費 84,251,661 円 (85,343,305 円)

[その他 7,401,844 円 一財 76,849,817 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 671,670 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 121,310 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 6,550,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 58,864 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・教育補助員を3校（取手第一中学校、藤代中学校、藤代南中学校）に配置し、生徒の学校生活の支援を行った。 2,275,844 円
- ・学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図った。 5,579,335 円

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、生徒の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。

[担当：保健給食課] P. 417

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,838,286 円 (13,858,104 円)

[国・県 17,410 円 その他 873,540 円 一財 12,947,336 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 17,410 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×1,899 人=873,540 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や、学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 6,154,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	12 名（6 名）	10 名	6 名

- ・生徒・教職員集団検診委託料 3,639,405 円

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2 年	1 年	精密検査対象者	2 年
R5	2,210 人	510 人	754 人	3 人	510 人
R4	2,189 人	485 人	765 人	2 人	485 人

職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R5	54人	54人	6人	54人	54人	54人
R4	57人	57人	9人	54人	57人	57人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施 17,028円
- ・学校環境衛生検査の実施(簡易専用水道検査) 79,200円

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.419

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 6,342,722円(9,800,307円)

〈3,783,969円〉 ※ 〈 〉は、うち4年度繰越分

[国・県 5,042,360円 〈3,762,984円〉 その他 〈20,985円〉 一財 1,279,377円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 1,279,376円]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 〈1,891,984円〉]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈1,871,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈20,985円〉]

○ 目的

感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に抑えつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、教室等における効果的な換気対策に係る取組に必要な経費を支援する。

○ 内容

- ・教室等における三密対策として、換気を徹底するためのサーキュレーター及び空気清浄機等の物品購入や網戸の設置を行った。
- ・感染対策における換気と温湿度管理を両立できるようにするために、普通教室や体育館等に備える加湿器や暖房器具等の物品購入を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の安全な学習環境の維持が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.421

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,122,862円(15,116,843円)

[国・県 627,230円 その他 10,295,000円 一財 4,200,632円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 627,230円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,295,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
R5	4,402,972	1,547,064	7,307,677	13,257,713
R4	4,654,480	1,707,630	7,034,853	13,396,963

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.421

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 40,847,843円 (39,156,489円)

[国・県 2,634,000円 一財 38,213,843円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 182,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,452,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護生徒就学援助者数 (在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R5	17人	286人	303人
R4	22人	275人	297人

・入学準備金支給者数

区 分	申請者数	支給者数
R5	82人	79人
R4	91人	87人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R5	120人	83人
R4	117人	83人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P.421

2303 物価高騰に伴う課題図書等給付事業に関する経費 1,109,069円 (1,027,770円)

[国・県 1,108,000円 一財 1,069円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 1,108,000円]

○ 目的

夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や生徒の学習機会の確保を図る。

○ 内容

就学援助の対象となった生徒 1 人につき夏休みの読書感想文課題図書等を 2 冊支給した。

・図書給付

区分	配布人数	配布冊数	図書購入金額
R5	290 人	580 冊	950,499 円
R4	286 人	572 冊	874,610 円

○ 効果

保護者に対し図書給付による経済的援助を行うことで、生徒の学習機会を確保することができた。

[担当：指導課] P. 421

2401 中学校部活動指導員配置事業に要する経費 2,932,803 円 (1,658,856 円)

[国・県 1,933,000 円 その他 1,585 円 一財 998,218 円]

* 特財内訳

[国補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 967,000 円]

[県補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 966,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 1,585 円]

○ 目的

専門的技術の高い外部指導者を任用し、持続可能な部活動の円滑な運営と生徒の競技力向上を目指す。

○ 内容

市内 6 中学校に 11 人の部活動指導員を配置し、生徒が専門的な技術の指導を受ける機会を確保した。

・中学校部活動指導員報酬 2,743,052 円

・費用弁償 173,751 円

○ 効果

外部指導者の専門的な技術指導や助言を受けることにより、生徒の競技に対する意欲や競技力が向上した。また、競技に対して経験が豊富なことから、安全面の指導を的確に行うことができています。

[担当：指導課] P. 423

2901 中学校特別活動助成に要する経費 18,694,404 円 (16,411,260 円)

[その他 10,660,000 円 一財 8,034,404 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,660,000 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して生徒の音楽やスポーツへの活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	738,800 円
・中学校体育連盟補助金（総体等運営経費）	494,000 円
・市内体育大会補助金（新人体育大会バス代半額補助）	4,215,325 円
・関東大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	526,000 円
・全国大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	223,000 円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	12,479,679 円
・賞状印刷代	17,600 円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.423

2107 中学校建設事業に要する経費（藤代南中学校） 3,591,500 円（0 円）

[その他 3,500,000 円 一財 91,500 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,500,000 円]

○ 目的

藤代南中学校のバリアフリー改修工事に伴う実施設計を行い、令和 6 年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

・電波障害事前調査委託料	313,500 円
・バリアフリー改修工事実施設計業務委託料	3,278,000 円

○ 効果

藤代南中学校のバリアフリー改修工事に伴う実施設計を行い、令和 6 年度に速やかに着工できる準備が整った。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.425

2001 給食運営に要する経費 169,709,183 円（166,380,206 円）

[その他 89,622,229 円 一財 80,086,954 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 720,000 円]

[諸収入：中学校給食代自校分 88,881,610 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 20,619 円]

○ 目的

生徒に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

・賄材料費	89,270,787 円
-------	--------------

・委託料

(単位:円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (6校)	750,200
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (4校)	805,788
給食室病害虫防除委託料	給食室等の病害虫の防除 (6校)	674,670
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (4校)	513,334
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	66,154,000
空調機保守点検委託料	空調設備保守点検業務委託 (4校)	513,609

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を委託することにより、適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、生徒に給食を通じた食育推進を図ることができた。

[担当：保健給食課] P.427

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 12,402,000円

(4,109,260円)

[国・県 10,789,000円 一財 1,613,000円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 10,789,000円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

○ 内容

・賄材料費 12,402,000円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.427

2101 給食施設整備に要する経費 5,031,183円 (3,732,055円)

[その他 1,856,000円 一財 3,175,183円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 440,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,316,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料 (施設や厨房機器等の修繕) 3,615,183円

・備品購入費（業務用冷凍庫・配膳台等） 1,416,000 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：保健給食課] P.429

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 654,902 円 (647,919 円)

[その他 3,078 円 一財 651,824 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @162 円×19 人=3,078 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

・園医及び園歯科医、園薬剤師の報酬 570,000 円

区分	園医	園歯科医	園薬剤師
人数	1 名	1 名	1 名

・園児・教職員集団検診委託料 5,940 円

区分	腎臓検診
R5	18 人
R4	15 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：生涯学習課] P.435

2001 はたちのつどいに要する経費 2,600,356 円 (2,476,867 円)

[その他 2,310,000 円 一財 290,356 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,310,000 円]

○ 目的

二十歳に達した若者の新たなる門出を祝福し、今後の活躍を願い、はたちのつどい式典を開催する。

○ 内容

令和5年度に二十歳になる人の中から市内中学校の推薦を受け、実行委員会を組織した。この実行委員会に、市からの委託事業として、はたちのつどいの企画・運営を依頼し、式典等を盛大に実施した。

年 度	対象者（人）	参加者（人）	出席率（％）
令和5年度 (令和6年1月7日（日）実施)	1,010	681	67.43
令和4年度 (令和5年1月8日（日）実施)	967	623	64.43

○ 効果

はたちのつどい実行委員会に式典等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典、アトラクションが実施できた。更に、記念冊子の編集作業を担当してもらうことで、思い出に残る冊子の作成ができた。

〔担当：生涯学習課〕 P.435

2201 生涯学習推進に要する経費 4,836,660円(3,290,824円)

〔国・県 609,000円 その他 211,200円 一財 4,016,460円〕

* 特財内訳

〔県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 88,000円×2/3≒58,000円〕

〔県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 827,564円×2/3≒551,000円〕

〔諸収入：市民大学講座受講料 211,200円〕

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。また、学校運営協議会の設置を進めることにより、地域と学校が一体となって子どもを育む環境を構築することや、家庭教育学級を設置することにより、家庭の教育力向上を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を、とりで学遊プラザリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	R5		R4	
	件数	受講者決定数	件数	受講者決定数
リーダーバンク編・講座数	7	169人	6	143人
行政編・講座数	47	1,260人	51	1,327人
合 計	54	1,429人	57	1,470人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
「わかりやすい源氏物語」 ～宇治十帖（愛と道心のはざまに）～ 講師 聖徳大学オープンアカデミー講師 赤塚 雅己 氏	8月1日（火） ～ 9月5日（火） （3回講座）	66人

『目で見る取手の歩み』講座（その2） 講師 埋蔵文化センター職員	9月19日（火） 10月3日（火） （2回講座）	47人
「世界遺産への旅」（安心の海外旅行） 講師 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭 氏	3月5日（火） ～ 3月21日（木） （5回講座）	39人

・東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（東大 EMP）の協力のもと、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による「未来を拓く先端知」と題された、国内第一線の研究者による講座や各界第一人者の講座を開講した。

講座名／講師名	開催期間	受講 決定者数
宇宙はどんな世界か ～取手から宇宙の果てまでを俯瞰する～ 講師 東京大学エグゼクティブ・マネジメント・ プログラム 特任准教授 高梨 直紘 氏	9月29日（金）	355人
コンピューターはどこまで賢くなるのか ～機械学習による挑戦～ 講師 東京大学大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻 教授 杉山 将 氏	10月10日（火）	254人
宇宙の暗黒面 - 最新の観測に基づく宇宙の運命に迫る！ 講師 カリフォルニア大学バークレー校 マックアダムス冠教授 村山 斉 氏	12月15日（金）	775人
化石の記録から解き明かす人類の進化と現在 講師 東京大学特別教授 総合研究博物館特任教授 諏訪 元 氏	1月17日（水）	318人
気候変動と健康～プラネタリーヘルスの視点から～ 講師 東京大学大学院医学系研究科教授 橋爪 真弘 氏	2月6日（火）	242人
中国の政治外交と日本 講師 東京大学大学院法学政治学研究科教授 高原 明生 氏	2月13日（火）	296人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
テレ朝出前講座 「ニュースの舞台裏とコミュニケーション講座」 講師 株式会社テレビ朝日広報局 お客様フロント部 田邊 美樹 氏	7月4日（火）	220人
健康づくりの公衆衛生的アプローチ 講師 こども家庭庁 成育局母子保健課長 木庭 愛 氏	9月26日（火）	238人

人生 100 年時代の資産寿命 ～豊かなセカンドライフに向けて～ 講師 相続診断士 永井 知江美 氏	11 月 1 日 (水)	45 人
小学生のためのプログラミング講座 講師 厚生労働省 ものづくりマイスター (IT 部門)	11 月 18 日 (土)	10 人
プログラミング体験講座 講師 プラチナマイスター (プラチナ未来スクール)、大学生スタッフ	3 月 5 日 (火) ～3 月 19 日 (火) (3 回実施)	23 人
プログラミング講座 講師 プラチナマイスター (プラチナ未来スクール)、大学生スタッフ	4 月 11 日 (火) ～3 月 19 日 (火) (年 31 回)	19 人

(3) 学校運営協議会

学校運営協議会を設置することで、学校と保護者、地域と関わり合いができ、継続した協力体制を取り付けることができる。加えて、学校長の策定する学校の基本方針の承認を通して今後の学校のあり方を知り、学校と当事者意識をもって関わることで、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して主体的に関わることができるようになる。令和 5 年度は市内小中学校 7 校（取手第二中学校、取手西小学校、寺原小学校、白山小学校、藤代小学校、久賀小学校、山王小学校）に学校運営協議会を設置した。市では、その支援のため学校、地域、保護者など各種客体別の研修会を開催した。

・令和 5 年度市主催研修会

研修会名	日付	会場	講師	内容
令和 5 年度学校運営協議会設置校長研修会（校長先生向けに実施）	5 月 8 日 (月) 10 : 00～12 : 00	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	コミュニティ・スクールの説明
令和 5 年度学校運営協議会公民館長研修会（公民館長向けに実施）	5 月 8 日 (月) 13 : 15～15 : 00	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	学校運営協議会と地域との連携について
第 1 回 学校運営協議会一括研修会（協議会委員向けに実施）	6 月 5 日 (月) 13 : 30～15 : 30	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	コミュニティ・スクールの概要について
学校運営協議会 実施校教頭 研修会（教頭先生向けに実施）	6 月 6 日 (火) 15 : 00～16 : 30	取手市役所 藤代庁舎 301 会議室	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	コミュニティ・スクールの説明
第 2 回 学校運営協議会一括研修会（協議会委員向けに実施）	7 月 3 日 (月) 10 : 00～12 : 00	井野公民館 会議室 1・2・3	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	協議会の進め方・熟議に関する研修
第 3 回 学校運営協議会一括研修会（協議会委員向けに実施）	10 月 30 日 (月) 10 : 00～12 : 00	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	文部科学省 CS マイスター 安齋宏之先生	学校評価に関する研修

民生委員・児童委員協議会研修会（民生委員・児童委員向けに実施）	11月6日（月） 13：30～15：00	福祉交流センター1階 多目的ホール	文部科学省 CSマイスター 安齋宏之先生	コミュニティ・スクールについて
取手市校長会 コミュニティ・スクール研修会（校長先生向けに実施）	11月8日（水） 15：30～16：30	取手市役所 藤代庁舎 301会議室	NPO法人 日本教育カウンセラー協会 理事 藤川章先生	今後のコミュニティ・スクールについて
第4回 学校運営協議会一括研修会（協議会委員向けに実施）	11月17日（金） 13：30～15：30	福祉会館 講座室A・B	文部科学省 CSマイスター 安齋宏之先生	学校評価と学校の基本方針の承認について
取手市青少年相談員 連絡協議会全体会議	1月25日（木） 15：15～16：45	福祉会館 講座室A・B	文部科学省 CSマイスター 安齋宏之先生	コミュニティ・スクールへの取手市青少年相談員の関わり方について
コミュニティ・スクール研修会（校長先生向けに実施）	2月13日（火） 9：30～11：00	取手ウェルネスプラザ セミナー ームA	文部科学省 CSマイスター 安齋宏之先生	学校運営協議会と企業との連携について

・各校の取り組み

令和5年度は、各実施校で4～6回程度学校運営協議会を開催し、協議を重ねた結果、保護者や地域の方々による様々な取り組みが実施された。

(4) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により全体研修会を実施した。（21学級 参加者数83人）

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、市民が関心を持っている分野について、専門講師陣が講義を行うことで、専門的な知識を取得する機会を提供することができた。

学校運営協議会では、地域と学校が話し合う場ができ、地域と学校が一体となって子どもを育む環境の構築を図った。

家庭教育学級では、アンガーマネジメントの研修と生教育をテーマにした全体研修会をそれぞれ開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P.437

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,429,125円 (4,602,677円)

[その他 2,511,000円 一財 1,918,125円]

* 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 261,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,250,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第48回 取手美術 作家展	6/10～6/21 (12日間)	38名の郷土作家による作品展。小中学校ギャラリーツアーも開催。 会場：とりでアートギャラリー 委託先：取手美術作家展 委託料：900,000円	1,667人
第54回 取手市民 美術展	10/20～12/10 (うち30日間)	市民の作品展。日本画・洋画・彫刻の部 62点、写真・書・工芸・デザインの部 86点(招待作品を含む)、小中学生の部 1,196点。 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費・役務費：391,025円	6,100人
取手市文化祭	11/3、4、5 (3日間)	伎芸(ぎげい)発表と作品展を開催。 会場：市民会館・福社会館 委託先：取手市文化連盟 委託料：1,000,000円	5,042人
取手市藤代 文化祭	10/15～11/12 (うち9日間)	作品展、体験教室、舞台発表、文化講演を開催。 会場：藤代公民館 委託先：取手市藤代文化協会 委託料：600,000円	2,185人
とりでスкуль・アートフェスティバル	1/21～1/28 (8日間)	市内にある全日制高等学校全7校の芸術教育の作品や演奏の発表。 会場：取手ウェルネスプラザ、とりでアートギャラリー 委託先：とりでスкуль・アートフェスティバル実行委員会 委託料：261,000円	1,165人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000円	団体の運営補助

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。新型コロナウイルス感染症拡大により活動中止や縮小を余儀なくされていたが、文化芸術活動・鑑賞に対する市民の意欲や関心が回復しつつある。

【担当：文化芸術課】 P. 437

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 98,197,615 円 (90,430,497 円)

[その他 1,170,000 円 一財 97,027,615 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金 1,170,000 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：95,918,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数 利用者数	稼働率
R5	市民会館	212 件	50,237 人	64.4%
	福祉会館	8,242 件	118,206 人	100%
R4	市民会館	226 件	42,992 人	68.5%
	福祉会館	8,078 件	109,749 人	100%

(2) 修繕料：2,219,800 円

施設名	件名	金額
市民会館	排水ポンプ更新修繕	1,177,000 円
福祉会館	揚水ポンプ修繕	605,000 円
	空調機配線修繕	316,800 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し、文化芸術の振興に寄与した。

【担当：文化芸術課】 P. 437

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 6,519,772 円 (6,803,321 円)

[その他 5,640,000 円 一財 879,772 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,640,000 円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を生かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学 取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000円（500,000円×4人）

第72回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品2点（油画・工芸）、及び音楽分野の優秀者2人（作曲・箏曲（そうきょく））に市長賞を授与した。美術部門の受賞作品の「exuviae」はとりでアートギャラリーに展示し、「よりどころ」は取手駅西口ペDESTリアンデッキのベンチに展示した。音楽部門の受賞者は、令和6年12月の記念演奏会で演奏を予定している。

種類	作品名	作者／受賞者
油画	exuviae	深海絵理香
工芸（鋳金）	よりどころ	岡本美里
作曲		藤井登生
箏曲		城戸さくら

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業。

小学校14校で美術指導を、中学校6校で吹奏学部への音楽指導を実施した。

委託料：小学校（美術）指導 2,402,400円（派遣人数140人）

委託料：中学校（音楽）指導 1,647,360円（派遣人数88人）

(3) 東京芸術大学との連携によるコンサート

出演者謝礼：304,000円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/29	藤代公民館 講堂	東京芸術大学学生による 金管五重奏	5人	298人
12/16	市民会館 大ホール	令和4年度取手市長 賞受賞者（指揮・室内 楽）によるコンサート	2人	405人
2/20	取手ウェルネス プラザ 多目的ホール	（東京芸術大学）妊産 婦向けコンサートサ ックス四重奏	4人	103人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

【担当：文化芸術課】 P.439

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 34,011,579円（33,716,896円）

【国・県 6,349,000円 その他 24,090,120円 一財 3,572,459円】

* 特財内訳

【国補：文化芸術振興費補助金 6,349,000円】

【繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 7,590,000円】

【諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000円】

【諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,120円】

【諸収入：コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり）5,000,000円】

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 131,000 円]

[諸収入：企業版ふるさと納税寄附金 5,000,000 円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を生かして東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

○ 内容

委託料：3,200,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/3、4	市民会館屋外 特設会場	アマチュア無料公演	14 組	2,690 人
10/14	市民会館 大ホール	プロ有料公演	1 組	468 人

○ 効果

優れた演奏を鑑賞しに市内外から多くの人々が来場し、文化・芸術によるまちづくりの推進が図られた。

(2) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：770,000 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、アーティストの活動を支援する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①「映像作品上映会」東京芸術大学取手校地で学んだ学生が芸術家として活躍していくことを支援するため、卒業生の制作した修了作品の上映会を開催した。（3 作品を延べ 9 回上映、合計上映時間 6 時間 15 分）

②「対話型鑑賞ツアー」言語化能力や論理的思考力の向上を目指し、アート作品を複数の人たちと対話しながら鑑賞するプログラムを学校と連携して実施。（小学校 6 校、中学校 1 校で計 7 校実施 計 333 人参加）

○ 効果

新しい造形表現の可能性を追求した先鋭的な作品を鑑賞することによって、鑑賞者自身の価値観や人生観を振り返る機会となり、卒業生にとっては、自分の作品がどのように受け止められたかをじかに感じる事ができた。また、対話型鑑賞ツアーは、子どもたちの思考力、創造力、言語化力、コミュニケーション力の向上の一助となり、同時に子どもたちを指導したアート・コミュニケーター（トリバア）のファシリテーションスキルの向上につながった。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,855,640 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供した。

・UR 都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。

・7 戸のうち 1 戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担。

- ・1戸につき2人以上、利用期間2年。
- ・地域との交流及びオープンスタジオ開催を条件としており、令和5年度は11月11日にオープンスタジオが開催され、スタジオ公開、作品展示、ワークショップ、青空市でにぎわった。
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	5人	4人	4人	5人

○ 効果

26人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。空き店舗を利用して地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

- 補助金：3,240,000円（取手アートプロジェクト事業運営補助金）
- 5,000,000円（コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成金））
- 6,349,000円（文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業））

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度から市民・東京芸術大学・取手市の3者が連携協力して、地域の特色を生かした芸術活動を行っているプロジェクトであり、上記補助金を充てて以下の事業を実施した。

令和5年度事業	取手アートプロジェクトの活動軸 ①多様な人が関わり変化していく芸術のまわりには、文化がにじみだす ②一人ひとりのあそぶ力・好奇心が社会をつくっていきける ③地域でのアートマネジメントを持続可能な仕事に
開催期間	通年
主な事業内容	①TAP半農半芸—高須で空あそび 大空凧（だこ）プロジェクト 12畳凧、6畳凧に続き、地域の自然素材を使って、芸術家と地域住民が共同で制作した凧を100枚連ねたアーチカイトを5本作り高須の空にあげることに挑戦した。雨天によりいったんは中止となったものの地域の人たちの思いを受け高須公民館まつりに合わせて実施した。 ②新・小文間物語—それやあれやこれやと盆踊り 東京芸大取手校地がある小文間地域に様々な形で関わる人たちからそれぞれの生活史を集め、小文間地区の盆踊りに参加し地域との交流を広げた。 ③大地と関わる知を体験の中で学ぶ「耕すプロジェクト」 東京芸大取手校地の野外空間を様々な人々が遊び学べる空間にするため、芸術家と一緒に整備した。 ④取手市内公民館で展開する「terra こや」 市内公民館を文化交流の拠点として活用する試みとして、市内3か所の公民館で芸術体験プログラムを実施した。 ⑤地域に関わりながら暮らす創造的団地居住実験プログラム「団地4・5Fクラブ」 井野団地の4-5階の空き家活用プロジェクトとして、UR都市機構と連携し、創造的活動の場として芸術家のモニター居住を実

	施。今後の地域コミュニティ活性化につなげていく。
--	--------------------------

○ 効果

市民が様々な機会に市内各所で芸術的活動に触れることができ、触れることにより各人がそれぞれの課題にそれぞれのやり方で向き合い、解決できるような機会を提供するため活動してきた。コロナ禍を経て、芸術家と新たな形で関係を結び直すことができ、この芸術家との関係性に市民を巻き込み、芸術の持つ働きを市民に訴えかけることが継続してできた。

(5) JOBAN アートライン協議会

○ 内容

負担金：400,000 円

JR 常磐線沿線の4区4市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京芸術大学、そして JR 東日本東京支社（現・首都圏本部）が「アート」をキーワードとした協議会を構成。常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

「ポストカードアートコンテスト」（R4 年開始）、「芸大生ライブペイント&ミュージック in アートアンブレラ」（R4 から音楽演奏を追加）を実施するとともに、各種プロモーション物品（ペーパーファイル、芸大生アートポストカード、PR 冊子）の制作を行った。

○ 効果

JR 常磐線沿線の住人に限らず、JOBAN アートライン協議会の認知度向上に寄与し、常磐線沿線の多種多様なアート資源の PR につながった。

(6) 東京芸術大学連携事業委託

○ 内容

委託料：1,881,000 円

アートのあるまちづくりを基本理念として、様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一つ。東京芸術大学に作品の制作と設置を委託し、屋外アートギャラリー（ストリートアートステージ）に2作品を展示した。

○ 効果

人々が行き交う場所に作品を設置することで芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

(7) 取手駅西口駅前交通広場時計塔制作業務委託

○ 内容

委託料：5,000,000 円

JR 取手駅西口のペDESTリアンデッキに設置されていた時計塔について、取手駅北土地区画整理事業に伴い更新した。費用はキヤノン株式会社からの企業版ふるさと納税寄附金を活用し、制作デザインは東京芸術大学に委託した。デザインは市内小中学生などから募集した図案を基に、身近な動植物が樹（き）に集まっているように表現されたもので、「共生の樹（き）」と名付けられた。

○効果

アートのまち取手の顔ともいえる取手駅西口駅前に芸術的な時計塔が新たに生まれたことで、取手の魅力が向上した。

〔担当：文化芸術課〕 P.441

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 13,409,234 円 (13,395,121 円)

〔その他 7,978,400 円 一財 5,430,834 円〕

* 特財内訳

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 5,922,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,570,000 円〕

〔使用料：アートギャラリー使用料 407,500 円〕

〔使用料：市民ギャラリー使用料 78,900 円〕

○ 目的

市民の芸術・文化交流の場であるアートギャラリーを管理・運営し、芸術・文化の振興に寄与する。

○ 内容

(1) ギャラリーの管理運営

とりでアートギャラリーは、取手駅ビル内にあるたいけん美じゅつ場 VIVA の一角に設置している。同施設の開閉、展示補助、市主催事業の受付等を委託により運営した。

- ・アートギャラリー管理委託料：2,303,106 円 (県・市シルバー人材センター)
- ・施設賃借料：9,685,308 円 (株式会社アトレ)

(2) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
取手と芋銭その後	6/30 ～ 7/5	とりでアート ギャラリー	明治時代から牛久に居を構え（その後取手を拠点とした）河童（かっぱ）の絵で有名な日本画家小川芋銭と、芋銭に影響を受けた作家と、現在も取手で活躍中の日本画家の作品展を開催。	572 人
にこにこ元気なとりでっ子！！作品展	8/4～ 8/15	とりでアート ギャラリー	市内公立、私立保育所（園）・幼稚園 19 か所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて 4 か所の地域子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,415 人
郷土作家部門展「洋画」とりでの洋画田中良 100 歳記念展	1/6～ 1/16	とりでアート ギャラリー	部門ごとに市所蔵品・市内作家の作品を広く集め展示する郷土作家部門展の第 3 回として、洋画部門の展覧会を、田中良氏の 100 歳記念展を兼ねて開催。展示数：62 点	1,603 人

※その他、ギャラリーの利用のない期間を利用して、東京芸術大学取手市長賞の作品を展示した。

(3) アートギャラリー貸出し実績

期間	展示名
4/14～4/19	絵を描く仲間たち展
4/21～4/26	第20回萌黄（もえぎ）の会写真展
5/5～5/10	とりで合同作品展（絵画、古民家、創作人形他）
5/19～5/24	戸頭油彩会展
5/26～5/31	上村貞美 パステル・鉛筆画展
7/21～7/26	16人+α 写真展
8/18～8/23	取手第二中学校・藤代南中学校美術部合同展
8/25～8/30	第26回写遊会取手写真展
8/25～8/30	8展（美術作品展示）
9/15～9/20	いばら会パステル画展
9/22～9/27	無限未来楽書展（書道）
9/29～10/4	第4回ゆうび創作工房展
9/29～10/4	乾板写真が語る写真館70年の仕事 取手の今昔
10/6～10/11	藤代高校美術部同窓展
11/19～11/26	第2回ヤギの目ビエンナーレもしも私がヤギならば展
12/15～12/19	ビスクドール「Dolly Doll」展
2/9～2/14	フォト四季写真展
2/9～2/14	藤代水墨画展
2/23～2/28	山王小大地からはじまること2023 成果展
3/1～3/6	取手洋画クラブ展
3/8～3/13	第21回萌黄（もえぎ）の会写真展
3/15～3/20	茨城県南書展
3/22～3/27	「麺、のびてる」展

(4) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	R5	R4
取手駅市民ギャラリー	42件	45件
藤代駅市民ギャラリー	28件	25件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

【担当：子ども青少年課】 P.441

3801 放課後児童対策事業に要する経費 372,668,930円（163,786,415円）

【国・県 261,854,000円 地方債 20,500,000円 その他 39,882,029円

一財 50,432,901円】

＊ 特財内訳

- [国補：子ども・子育て支援交付金 32,642,000 円]
- [国補：子ども・子育て支援整備交付金 168,968,000 円]
- [県補：放課後児童対策事業補助金 10,776,000 円]
- [県補：子ども・子育て支援交付金 33,004,000 円]
- [県補：子ども・子育て支援整備交付金 16,464,000 円]
- [市債：合併特例債 (202,764,000 円－180,724,000 円) ×95%≒20,500,000 円]
- [負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 37,795,875 円]
- [繰入金：公共施設整備基金繰入金 900,000 円]
- [繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,088,000 円]
- [諸収入：雇用保険料本人負担分 98,154 円]

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、児童の健全育成を図る。

○ 内容

放課後子供教室事業と放課後児童クラブ事業を一体的に、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市立小学校に開設。全児童を対象に放課後や夏休み等の長期休業中における安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、遊びや体験活動を通じて児童の健全育成と子育て支援の充実を図った。

令和 3 年 10 月より取手東小学校、高井小学校、藤代小学校の放課後子どもクラブの運営を民間事業者へ委託することで、慢性的な支援員不足の解消及び民間事業者が持つノウハウの活用を図った。さらに、土曜日の開所を 3 クラブに集約することで支援員等負担の軽減と運営の効率化を図る一方、開所時間を拡大することで保護者の就労支援の充実を図った。

白山小学校長寿命化改良工事に伴い、学校敷地内に放課後子どもクラブ室を新築した（軽量鉄骨造 2 階 519.12 m²）。

- ・放課後児童支援員報酬 88,459,025 円
- ・放課後子どもクラブ運営業務委託料 63,038,335 円
- ・白山小放課後子どもクラブ室新築工事監理業務委託料 5,065,000 円
- ・白山小放課後子どもクラブ室新築工事 197,699,000 円

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

令和 6 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	41	37	31	33	19	7	168
白山小	44	40	29	23	5	5	146
取手東小	46	46	40	27	17	10	186
寺原小	33	32	27	16	13	12	133
永山小	24	20	24	19	6	2	95
取手西小	34	31	22	15	8	15	125
戸頭小	36	37	27	18	14	3	135

高井小	79	64	64	38	20	5	270
山王小	14	9	12	4	3	6	48
六郷小	4	7	7	8	7	4	37
藤代小	41	29	32	29	12	11	154
宮和田小	27	32	25	12	19	6	121
久賀小	29	21	25	14	8	13	110
桜が丘小	27	20	25	15	10	6	103
合 計	479	425	390	271	161	105	1,831

放課後子どもクラブ登録児童数（土曜日登録者） 令和6年3月31日現在（単位：人）

	取手東	高井	藤代	合 計
取手小	13	0	0	13
白山小	6	2	0	8
取手東小	51	0	0	51
寺原小	2	6	0	8
永山小	0	7	0	7
取手西小	3	20	0	23
戸頭小	1	9	1	11
高井小	0	58	0	58
山王小	0	2	0	2
六郷小	1	0	0	1
藤代小	0	0	32	32
宮和田小	0	0	16	16
久賀小	0	0	4	4
桜が丘小	2	0	5	7
合 計	79	104	58	241

※土曜日は取手東小、高井小、藤代小の3クラブで開所。

○ 効果

児童の健全な育成と子育て支援の充実を図った。取手東小・高井小・藤代小の3クラブの運営委託及び土曜日開所を同クラブに集約化することで、支援員等の人材不足への対応及び支援員等の負担軽減につなげるとともに、土曜日を一日開所とすることで、保護者の就労支援を行った。また、白山小放課後子どもクラブ室を新築することで快適な環境を提供することができた。

【担当：生涯学習課】 P.445

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 517,713円（388,424円）

〔国・県 345,000円 一財 172,713円〕

* 特財内訳

〔県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金

517,713円×2/3≒345,000円〕

○ 目的

地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支える。

○ 内容

- (1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる情報提供
(2) 実施対象 市校長会から推薦された小学校7校（取手小、白山小、取手東小、桜が丘小、六郷小、藤代小、久賀小）の小学1年生児童を持つ保護者（318名）
(3) 実施内容 ①保護者からの相談への対応
②保護者に対する情報提供
(4) 実施結果

学校名	対象人数	面談者数	面談割合
取手小学校	56名	48名	85.7%
白山小学校	56名	47名	83.9%
取手東小学校	59名	55名	93.2%
桜が丘小学校	38名	36名	94.7%
六郷小学校	11名	10名	90.9%
藤代小学校	57名	47名	82.4%
久賀小学校	41名	36名	87.8%
合計	318名	279名	87.7%

※転入生に対しては、対象者全員へ家庭訪問についての希望調査を実施したが、希望者はなし。

○ 効果

コロナ禍明けに、対象校を4校から7校に増やして、支援員による個別家庭訪問を実施し、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課] P.445

0501 公民館事務に要する経費 46,263,182円（47,345,862円）

[国・県 1,716,000円 その他 9,377,783円 一財 35,169,399円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 1,716,000円]

[使用料：公民館使用料 8,336,210円]

[手数料：コピー手数料 167,530円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 780,000円]

[諸収入：印刷機使用料 93,923円]

[諸収入：電話通話料 120円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行った。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

- ・光熱水費 20,628,746円（各公民館施設の光熱水費）

- ・委託料 17,034,591 円
(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託、消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託など)
- ・備品購入費 786,962 円
(卓球台 6 台、折りたたみイス 17 脚など)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：生涯学習課] P. 449

2101 公民館活動に要する経費 1,438,707 円 (871,726 円)

[一財 1,438,707 円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供した。

- ・報償費 983,488 円 (各公民館講師謝礼等)

<主な事業>

事業名	期 間	回数	受講者数 (人)	事業内容及び結果
女性学級	年間	各学級 10～12	1 学級 9 人～30 人 8 学級(149 人)	様々な出会いを大切に、視野を広げ、楽しく学習しながら豊かな人間性を培い、学級生相互の交流を深めた。
高齢者学級	年間	各学級 11～13	1 学級 10 人～115 人 4 学級(241 人)	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
小学生七宝焼き講習会	8 月	1	5	小学生を対象に七宝焼き講習会を開催し、額絵を制作体験する場を提供した。
サマースクール「夏休み子ども絵画教室」	8 月	1	20	夏休みに小学生を対象にした絵画教室を開催し、学習の場を提供した。
山王陶芸講座	10～12 月	6	80	山王地域で採れる粘土を使って土器を作り、創作活動を楽しんだ。

健康教室	10～2月	5	72	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
しめ飾り作り講座	12月	3	50	伝統的なしめ飾りやアーティフィシャルフラワー(造花)を使ったしめ飾りの作り方を学んだ。
ペタンク大会	9～11月	2	107	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	24	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。
公民館まつり	2～3月	12	8,443	公民館利用団体が学習成果を展示・発表、地域住民の方と交流を図った。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	R5	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R4		
小文間公民館	R5	1,066	7,760
	R4	1,188	8,687
永山公民館	R5	2,722	29,439
	R4	2,657	29,537
寺原公民館	R5	1,954	23,652
	R4	2,052	25,453
井野公民館	R5	3,582	58,888
	R4	3,354	55,559
戸頭公民館	R5	3,598	52,306
	R4	3,750	53,134
白山公民館	R5	2,219	32,902
	R4	2,234	33,907
藤代公民館	R5	3,180	37,582
	R4	3,484	44,164
山王公民館	R5	687	6,238
	R4	682	5,864
六郷公民館	R5	793	10,281
	R4	784	10,707
相馬公民館	R5	1,120	9,808
	R4	1,054	9,584
相馬南公民館	R5	1,429	13,970
	R4	1,315	11,984
高須公民館	R5	492	5,433
	R4	461	4,791

久 賀 公 民 館	R5	717	6,963
	R4	766	6,944
合計	R5	23,559	295,222
	R4	23,781	300,315

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

[担当：生涯学習課] P.449

2301 公民館施設整備に要する経費 61,270,276 円 (24,608,404 円)

[地方債 48,100,000 円 その他 7,070,000 円 一財 6,100,276 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 50,710,000×95%≒48,100,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,070,000 円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行った。

- ・ 修繕料 9,785,376 円 (各公民館施設の修繕)
- ・ 工事請負費 50,710,000 円 (戸頭公民館空調設備改修工事)
- ・ 工事請負費 638,000 円 (白山公民館車止め設置工事)

○ 効果

戸頭公民館の空調設備更新と併せて、2 階講座室に空調設備を増設したことで、利用者がより快適に利用できる環境が整備された。

また、各公民館の附帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある附帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性の維持・向上に寄与した。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.451

2001 図書館管理運営に要する経費 24,653,389 円 (143,633,561 円)

[一財 24,653,389 円]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額 (単位：円)
取手図書館商業灯撤去工事	経年劣化により倒壊の恐れがある敷地内の商業灯を撤去した。	99,000
取手図書館外構 (ブロック塀) 修繕	経年劣化により倒壊の恐れのあるブロック塀を修繕し、安全性の維持を図った。	151,800

ふじしろ図書館駐車場外灯修繕	駐車場の外灯を修繕し、自動車での利用者の安全性を図った。	143,000
----------------	------------------------------	---------

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めることができた。

[担当：図書館] P. 451

2101 図書館活動に要する経費 96,761,814 円 (95,333,936 円)

[その他 4,396,269 円 一財 92,365,545 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,210,000 円]

[手数料：コピー手数料 67,430 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 118,839 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実、並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用
 本の魅力を発信する図書館 Web サービス及び学校図書館と市立図書館とのシステム連携並びに図書配送サービスの運用。
 図書館システム賃借料（4～3 月） 33,363,756 円
 図書配送業務委託料 6,803,280 円
- ・ 電子図書館システム使用料 4,684,015 円
- ・ 学校との連携、学校図書館への支援
 学校司書研修会
 蔵書点検の指導・実施
 図書館システム活用・運用についての指導（随時）
 学校訪問おはなし会
 放課後子どもクラブ訪問おはなし会
 家庭教育学級への講師派遣（2 回）
 学校へのリサイクル図書配付（638 冊）
- ・ うちどく（家読）
 「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。
 うちどくメール定期便配信（年 6 回）
 うちどくおすすめ絵本通信「よもっと」発行（年 4 回）
 小学校保護者へ「Home&School」（メール）でうちどく情報配信（年 3 回）
- ・ 子育て支援
 ブックスタート事業（年 24 回実施・499 冊配付）
 乳幼児・児童向け読み聞かせ

地域子育て支援センター訪問（3回）

こども発達センターおはなし会（2回）

子育て支援センター（4か所）へ配本セットを巡回

保育所等へのリサイクル図書配付（430冊）

- ・図書館だより配信（メールマガジン）
- ・中高生向け本の情報紙「ほんバナ」を年4回発行・学校に配付・ホームページ掲載
- ・図書館まつり 取手図書館（5/21）・ふじしろ図書館（5/28）
- ・特別展示「効き目ほんわか こころのお薬 100冊 2023」（8/1～9/28）
自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。（総貸出冊数 3,249冊）

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
R5	417	4,613	2,480	1,310	1,549	2,663	3,542	4,911	4,490	11,772	37,747
R4	442	4,700	2,504	920	2,366	3,949	5,181	6,688	5,622	14,599	46,971
R3	469	4,854	2,669	2,446	2,432	3,726	4,991	6,743	5,185	13,911	47,426
R2	516	4,907	2,751	2,040	2,372	3,439	4,819	6,671	4,758	13,300	45,573
R1	587	4,981	2,849	1,565	2,254	3,138	4,768	6,499	4,298	12,733	43,672

(3) 利用状況

- ・入館者数

館名	入館者数（単位：人）				
	R5	R4	R3	R2	R1
取手図書館	118,048	115,020	106,842	100,230	140,085
ふじしろ図書館	125,155	114,932	112,046	105,911	156,734
合計	243,203	229,952	218,888	206,141	296,819

- ・館別貸出者数

館名	貸出者数（単位：人）					
	R5	R4	R3	R2	R1	
取手図書館	52,724	52,922	54,860	50,310	61,607	
ふじしろ図書館	49,381	48,704	50,821	45,585	56,228	
戸頭公民館図書室	25,121	25,032	25,650	23,813	30,072	
小文間公民館図書室	418	469	325	286	324	
寺原公民館図書室	4,840	4,831	4,887	4,634	4,596	
永山公民館図書室	1,487	1,352	1,433	960	887	
ゆうあいプラザ図書室	2,863	2,889	3,120	2,658	2,549	
井野公民館	2,507	2,716	2,704	2,464	2,010	
取手駅前窓口	7,048	7,040	8,418	7,441	7,385	
山王公民館	148	100	124	137	133	
六郷公民館	303	333	500	420	271	
相馬南公民館	1,142	1,197	1,329	870	677	
学校配送	小学校	1,871	2,002	2,154	2,105	1,510
	中学校	390	375	476	465	423
合計	150,243	149,962	156,801	142,148	168,672	

・貸出冊数（個人貸出）

館名	貸出冊数（単位：冊）					
	R5	R4	R3	R2	R1	
取手図書館	190,134	195,464	201,263	185,547	219,351	
ふじしろ図書館	177,849	181,573	187,053	166,889	200,337	
戸頭公民館図書室	79,306	80,606	80,551	74,126	90,975	
小文間公民館図書室	815	934	658	575	691	
寺原公民館図書室	10,380	10,531	10,476	10,561	10,533	
永山公民館図書室	3,771	3,564	3,877	2,709	2,198	
ゆうあいプラザ図書室	7,987	8,005	8,350	7,110	6,756	
井野公民館	4,716	5,367	5,281	4,971	4,023	
取手駅前窓口	13,658	13,483	16,836	14,917	14,536	
山王公民館	349	187	207	247	293	
六郷公民館	605	675	937	822	554	
相馬南公民館	2,133	2,325	2,788	1,763	1,070	
学校配送	小学校	3,118	3,374	4,227	5,338	6,385
	中学校	385	320	781	934	695
合計	495,206	506,408	523,285	476,509	558,397	

・予約提供状況

予約件数（単位：件）	R5	R4	R3	R2	R1
		122,662	123,623	135,422	126,333

○ 効果

新型コロナウイルス感染症防止のため中止していたイベントの再開に努め、読書環境を整備し、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

【担当：図書館】 P.453

2201 図書館資料購入に要する経費 28,207,865 円（28,406,569 円）

[その他 19,482,062 円 一財 8,725,803 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 19,420,000 円]

[諸収入：図書弁償金 39,144 円]

[諸収入：広告掲載料 22,918 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

規定の収集方針に基づき図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和5年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入数 (冊)	購入金額 (円)	購入種類	購入金額 (円)
取手図書館	4,109	9,091,898	62 誌	616,638
ふじしろ図書館	4,581	8,629,082	74 誌	831,200

戸頭公民館図書室	1,701	3,215,215	24誌	301,416
合計	10,391	20,936,195	128種類	1,749,254

館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額 (円)	購入数 (点)	購入金額 (円)
取手図書館	12紙	454,700	48	90,454
ふじしろ図書館	12紙	540,446	76	498,836
戸頭公民館図書室	10紙	319,900	47	45,474
合計	17種類	1,315,046	171	634,764

※新聞の購入種類は同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書（単位：冊）				
	R5	R4	R3	R2	R1
取手図書館	141,245	139,867	138,203	134,967	142,905
ふじしろ図書館	135,668	137,819	144,232	146,845	146,304
戸頭公民館図書室	57,450	57,585	56,837	54,684	52,761
小文間公民館図書室	2,272	2,361	2,268	2,190	2,391
寺原公民館図書室	4,920	4,840	4,650	4,523	4,511
永山公民館図書室	4,718	4,561	4,303	4,179	4,188
ゆうあいプラザ図書室	10,947	10,327	10,761	10,496	10,488
合計	357,220	357,360	361,254	357,884	363,548

館名	雑誌（単位：タイトル数）				
	R5	R4	R3	R2	R1
取手図書館	77	78	80	86	89
ふじしろ図書館	80	80	81	86	92
戸頭公民館図書室	24	25	26	27	27
合計	181	183	187	199	208

館名	AV（単位：件）				
	R5	R4	R3	R2	R1
取手図書館	854	903	861	756	691
ふじしろ図書館	5,968	5,905	5,771	5,863	5,682
戸頭公民館図書室	332	285	227	160	143
合計	7,154	7,093	6,859	6,779	6,516

○ 効果

各館の特長を活かしながら利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指した。また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい地域の公民館など、読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：生涯学習課] P.455

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,705,611 円 (8,208,681 円)

[その他 4,682,000 円 一財 4,023,611 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,490,000 円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容
R5	週3日 (金・土・日)	159日	3,333人	21.0人	<ul style="list-style-type: none"> ・修復工事のビデオを随時放送した。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。
R4		156日	2,642人	16.9人	

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	2,513,868 円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
庭園管理委託料	1,342,000 円
史跡指定地・駐車場賃借料	3,579,727 円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、歴史や文化財に対する市民の関心を高めるとともに、見学者の約7割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与できた。

[担当：生涯学習課] P.457

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 924,948 円 (657,977 円)

[その他 770,000 円 一財 154,948 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 770,000 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対

する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	R5年度	R4年度	R3年度
来館者数	3,481人	2,763人	3,794人

(2) 展示活動

展 示 名	埋蔵文化財センター第51回企画展「絵はがきでよみがえる昔の取手」
期 間	8/15～10/22 会期日数 61日
来館者数 (1日平均)	1,678人 (27.5人)
主 な 経 費	・印刷製本費 418,000円 (ポスター、解説図録など) ・講演会講師謝礼 30,000円
内 容	絵はがきに写る昔の取手の姿を紹介して、現在に至る郷土の変遷をたどった。 ・講演会 「日本の郵便史ー記念切手と絵葉書を中心にー」 10/8 講師 原田昌幸氏 参加者 41名 ・歴史講座 「絵はがきで見る取手の街並み」 8/26 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者 38名

展 示 名	埋蔵文化財センター第52回企画展「祈りのかたちー出土品から見る先史時代の祭祀ー」
期 間	R6.2/20～4/21 会期日数 53日 (3/31までの会期日数 35日)
来館者数 [1日平均]	831人 [15.7人] (3/31まで 535人 [平均 15.3人])
主 な 経 費	・印刷製本費 418,000円 (ポスター、解説図録など)
内 容	市内出土の祭祀遺物を取り上げ、そこから見えてくる先史時代の人々の生活やつながりなどを紹介した。 ・考古学講座 第1回「縄文時代の祭祀と『目で見る取手の歩み』」 3/10 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者 49名 ・市内重要遺跡ツアー 「市内有数の縄文のムラ神明遺跡や糠塚1号墳をめぐる」 3/9 3/24 講師 埋蔵文化財センター職員 2回分の参加者 延べ 29名

○ 効果

市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることに寄与した。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ振興課] P.463

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,000,000円 (8,952,000円)

[その他 5,040,000円 一財 3,960,000円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,040,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
スポーツ協会	27部	3,904人	スポ協親睦会・講演会の開催、視察研修、各種講習会の開催、機関誌の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	10連盟 34単位団	指導者 152人 団員 943人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習会・研修会への参加

○ 効果

スポーツ協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと、認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課] P.463

2401 中学校部活動地域移行事業に要する経費 2,142,001 円

[国・県 1,496,150 円 一財 645,851 円]

* 特財内訳

[国補：地方スポーツ振興費補助金 38,000 円]

[県補：地方スポーツ振興費補助金 38,150 円]

[県委：運動部活動地域移行実証事業再々委託料 1,420,000 円]

○ 目的

少子化や教職員の働き方改革が進む中、地域の中学校部活動の維持が難しい状況になってきていることから、地域のスポーツ文化活動を多様かつ持続可能に整備することで、子どもたちの健全育成を図り、学校教育の向上につなげる。

○ 内容

令和5年度に、取手市部活動地域移行推進協議会を設置し、国や県が示すガイドラインをもとに、市内中学校の部活動や地域特性に合わせた休日における中学校部活動の段階的な地域移行について検討した。また、藤代中学校及び藤代南中学校の野球部及び剣道部をモデルに指定し、事業をスタートした。

・会計年度任用職員報酬	986,708 円
・地域部活動指導員謝礼	695,605 円
・中学校部活動地域移行事業推進協議会委員謝礼	114,300 円
・地域クラブで使用する消耗品の購入代	297,300 円
・賠償保険料	29,088 円

○効果

休日の中学校部活動を地域のクラブへと移行したことによって、生徒たちがスポーツを継続して活動できる環境を確保することができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 465

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 173,584,274 円

(135,702,249 円)

〔地方債 20,800,000 円 その他 8,779,000 円 一財 144,005,274 円〕

* 特財内訳

〔市債：合併特例債 21,989,000 円×95%≒20,800,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,779,000 円〕

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理運営を実施している。

・指定管理料 140,956,000 円（うち補填分 20,730,000 円）

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R5	R4	増減
室内プール	121,992	117,615	4,377
遊水プール	13,403	10,597	2,806
第一体育室	46,443	47,316	△873
第二体育室	9,400	8,923	477
トレーニング室	47,446	41,118	6,328
柔道場	13,855	13,499	356
剣道場	8,333	8,643	△310
弓道場	12,651	11,117	1,534
健康相談室	377	375	2
スポーツ障害相談室	158	237	△79
研修室	12,660	13,536	△876
会議室	1,033	409	624
和室	575	841	△266
その他	13,736	9,088	4,648
合計	302,062	283,314	18,748

(2) 委託料

・下水道接続工事実施設計業務委託料 3,333,000 円

(3) 工事請負費

・エレベーター改修工事 21,989,000 円

○ 効果

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。また、多くの方が利用するエレベーターを油圧式昇降機からロープ式昇降機に改修することで、より安全で安心して利用できる環境を整えた。

[担当：スポーツ振興課] P.465

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 51,371,829円(42,449,187円)

[国・県 1,141,000円 その他 8,814,120円 一財 41,416,709円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 1,141,000円]

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,809,730円]

[手数料：コピー手数料 1,090円]

[諸収入：印刷機使用料 3,300円]

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R5	R4	増減
アリーナ	27,110	28,130	△1,020
レクリエーション室	5,070	5,365	△295
多目的グラウンド	4,886	4,906	△20
野球場	9,251	8,527	724
テニスコート	11,510	11,573	△63
広場(ピクニック広場、クレール広場)	3,808	4,270	△462
会議室	328	339	△11
合計	61,963	63,110	△1,147

(2) 施設維持・管理経費

- ・総合体育館設備保守・清掃業務委託 9,583,200円
- ・施設管理業務委託 2,864,447円
- ・屋外施設管理業務委託 5,005,000円
- ・庭園管理業務委託 7,675,822円

(3) 修繕一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代スポーツセンター 会議室床下排水管修繕	4,840,000円	R5/9/13～ R5/12/15	排水管の経年劣化及び地盤沈下に伴う修繕
藤代スポーツセンター 合併浄化槽流量調整槽 自動微細目スクリーン 修繕	506,000円	R5/11/10～ R6/1/31	合併浄化槽流量調整槽自動微細目スクリーンの経年劣化に伴う修繕
藤代スポーツセンター 高圧電気設備修繕	4,070,000円	R5/11/11～ R6/3/22	電気設備の高圧ケーブル劣化に伴う修繕

○ 効果

施設の安全や環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課] P.469

2402 社会体育施設管理に要する経費（旧取手一中体育施設） 22,998,424 円
(2,557,192 円)

[国・県 3,171,000 円 地方債 13,900,000 円 その他 3,389,000 円
一財 2,538,424 円]

* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分）
3,171,000 円]

[市債：保健体育施設整備事業債
(9,514,000 円－3,171,000 円) ×90%≒5,700,000 円]

[市債：保健体育施設整備事業債 10,946,000 円×75%≒8,200,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,389,000 円]

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況（グラウンド）

項目	R5	R4	増減
利用団体数	6 団体	6 団体	0
登録人数	204 人	162 人	42

(2) 施設維持・管理経費

- ・雨水貯留槽等点検管理業務委託 385,000 円
- ・体育館耐震補強・大規模改造工事実施設計業務委託 20,460,000 円
- ・樹木剪定草刈清掃等業務委託 1,617,000 円

○ 効果

樹木剪定及び草刈清掃の実施により、利用者の安全性や快適性、美観の向上が図られた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P.471

2001 給食センター運営に要する経費 127,582,230 円 (124,228,678 円)

[その他 111,817,238 円 一財 15,764,992 円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 1,171,267 円]

[諸収入：小学校給食代センター分 70,545,465 円]

[諸収入：中学校給食代センター分 40,100,506 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、園児・児童・生徒の望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

消耗品費 4,841,481 円

賄材料費 114,843,131 円

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を委託することにより、適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、子どもたちに給食を通じた食育推進を図ることができた。

[担当：保健給食課] P.473

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 14,785,000 円

(5,307,000 円)

[国・県 12,862,000 円 一財 1,923,000 円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 12,862,000 円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

○ 内容

賄材料費 14,785,000 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.473

2101 給食センター施設整備に要する経費 42,477,929 円 (47,503,582 円)

[一財 42,477,929 円]

○ 目的

学校給食センターの給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、当該施設の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	14,805,911
修繕料	調理機器及び施設修繕料	1,059,102

(2) 委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,989,005
学校給食センター施設管理業務委託料	調理機器の保守点検及び施設の維持管理費、生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務	9,611,690

○ 効果

学校給食センター内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。